

医学系研究実施のお知らせ

医学系研究「初診時間診票の文字数と治療結果に関する後方視的検討」に関する 研究実施のお知らせについて

当院では、最適な治療を患者さんに提供するために、病気の特徴を研究し、診断法、治療法の改善などを目指す医学系研究を行なっています。そのような医学系研究の一つとして、この研究も行われております。

このお知らせ文は、この研究の実施について皆様にご覧いただき、研究内容を正しく理解していただくと同時に、対象者となられる方が研究不参加を望まれる場合にはその意思表示をしていただくためのものです。

なお、この研究は福岡学園倫理審査委員会の承認と、研究機関の長（福岡学園理事長水田祥代）からの許可を受けています。この研究が許可されている期間は、2025年3月31日までです。

1. 研究の対象となる方の条件

2016年4月1日から2017年3月31日までに、当院総合初診科を受診された全ての患者さんで初診問診票に記載された方が対象です。問診票の読み取りが困難な方は対象から除外いたします。

目標症例数は2000例です。

この研究において、ご自身の診療情報や試料等が利用されることを望まれない場合は、お手数ではありますが、下記相談窓口の担当者連絡先まで、ご一報ください。

2. 研究の目的や意義について

歯科治療が「うまくいく」するには、歯の状態だけでなく、患者さんと治療の担当医との相性なども重要になってきます。この研究では、初診時の問診票の特徴を把握し、患者さんの特徴をまとめます。最終的には、どのような患者さんに、どのくらいの経験のある担当医が適切なのか、などを判断するのにも役立つものになります。

3. 研究の方法について

この研究を行う際は、対象となる方の診療録より以下の情報を取得します。取得した情報の関係性を分析し、問診票の特徴と、治療の結果との関連を明らかにします。治療の結果に関しては、「治癒終了」「治療継続中」「治癒せず終了」「ドロップアウト」の4つに分類して判定します。

[取得する情報]

年齢、性別、初診時間診票に記載された文字数、担当医の経験年数、治療回数、治療の結果

4. 試料や情報の管理について

この研究において研究対象者から得られた情報は、研究終了後、福岡歯科大学総合歯科学講座高齢者歯科学分野において同分野教授の内藤徹の責任の下、10年間保存した後、研究用の番号等を消去し、廃棄します。

なお、得られた情報は二次利用の可能性があるため、上記期間を越えて保管する場合があります。情報を二次利用する場合は、改めて研究計画を倫理審査委員会に提出し審議をうけ、研究計画について公開を行ってから研究を実施します。

5. 研究に関する情報や個人情報の開示について

この研究に参加してくださった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の研究計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことができます。資料の閲覧を希望される方は、ご連絡ください。

6. 研究の実施体制について

研究実施場所 (分野名等)	学校法人 福岡学園 福岡歯科大学 総合歯科学講座高齢者歯科学分野
研究責任者	福岡歯科大学 総合歯科学講座高齢者歯科学分野 教授 内藤 徹

7. 相談窓口について

この研究に関してご質問や相談等ある場合は、下記担当者までご連絡ください。

事務局 (相談窓口)	福岡歯科大学 総合歯科学講座高齢者歯科学分野 准教授 梅崎 陽二朗 連絡先：〔TEL〕 092-801-0411 (内線 1333) 〔FAX〕 092-801-0475 メールアドレス：umezaki@college.fdcnet.ac.jp
---------------	--

(作成日：2020年12月14日 最終修正日：2月24日)